

第9回初台プロジェクト会議

～地域企業の社会貢献と地域貢献活動～

開催報告

【開催概要】

日時：平成23年12月2日（金）19：00～

場所：住友不動産西新宿ビル6号館 2F-1 会議室

出席者： 42名



1. 伊藤園のCSR活動～地域活性化への取り組み～

株式会社伊藤園 笹谷取締役

株式会社伊藤園の笹谷さんから、伊藤園の社会貢献活動についてお話いただきました。

伊藤園は、ISO26000の国際標準に沿ってCSR活動を進めています。主力商品の「お～いお茶」に関連して、耕作放棄地の活用につながる茶産地育成事業や、茶殻リサイクルシステムを展開しています。また、地元でのアダプトプログラムを始め、食の安全、環境保全、地域に密着した積極的な活動や災害協定自販機の設置など、幅広く活動を行っているそうです。

■主な質疑内容

Q1.伊藤園のCSR活動には、経営者の思いが関係しているのでしょうか？（酒向先生）

A1.その通りです。経営理念や社是にも「お客様第一主義」「社会からの信頼重視」という思いが表れており、社員が社会からの信頼を重視した活動を行っています。（笹谷さん）

意見.商品に関して、生産からリサイクルまでの一連の流れで取り組んでいる点が素晴らしいと思います。お茶殻入りベンチなど今後活躍していくフィールドがあると思うので、連携して展開していきましょう。（東京都）

A2.引き続き、行政の方々とも連携して展開していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。（笹谷さん）

【お茶殻のリサイクル商品】



重量：約23kg
1,600mm(W)×610mm(D)×745mm(H)

お茶殻入りベンチ



お茶殻入り封筒



お茶殻入り折紙・千代紙

2. 地域貢献と社会貢献活動について

ロッテ株式会社 辻広報・宣伝部長

ロッテの辻さんから、ロッテの社会貢献活動についてお話いただきました。

ロッテでは、お菓子には不思議な力があり、自然と笑顔が集まると考え、イベントの開催や義捐金などの支援活動に取り組んでいるそうです。(キモチつながるプロジェクト)

また、チューインガムを通して、『咀嚼と健康』に関するテーマでイベントなどを展開しているそうです。例えば、咀嚼の効果を分かりやすく説明し、高齢者の方が認知症になりにくい生活づくりの提案などを始め、80歳になっても自分の歯を20本以上保つための8020運動などを展開しているそうです。

■主な質疑内容

意見.これまでは患者さんの体調やメタボに配慮して、お菓子の量をセーブしていました。今後はお菓子と笑顔の結びつきを考えてメタボにならない程度に食して頂こうと思えます。(酒向先生)

Q1.お菓子メーカーの増加や、健康志向の高まり、さらに少子高齢社会の進展などの社会的変化による影響はありますか？また、その中で、商品開発のコンセプトに変化はあるのですか？(山下さん)

A1.ガムやチョコレートなどお菓子全般で売り上げが停滞していますが、その中でキシリトールガムは歯の再石灰化を促す食品として売り上げを維持しています。そこで、虫歯予防などお菓子を食べて健康につながるような商品開発や展開を図っていきたいと考えています。(辻さん)

意見.健康と笑顔というキーワードのもと、ヘルシーウォーク等のイベントにご協力頂ければと思います。(酒向先生)

3. NTT東日本における社会貢献活動について

NTT東日本 工藤 CSR 担当課長

NTT 東日本の工藤さんから、NTT 東日本の社会貢献活動についてお話いただきました。

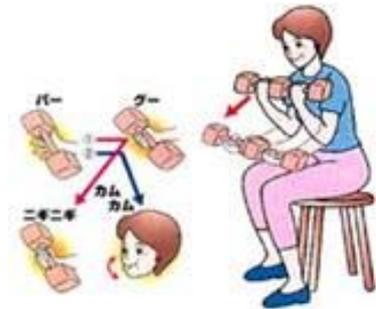
災害時など耳の不自由な方が、電話連絡等を行う必要が生じた際に、用件や連絡先等を書いて近くの方に協力をお願い



【咀嚼と健康に関する取組み】



ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー



健康ガムカムダンベル体操

するためのコミュニケーションツール（電話お願い手帳）の提供や耳の不自由な方でも音楽を楽しめるよう骨伝導式ステレオヘッドホン（ライブホン「ときめき」）を活用したコンサートの開催などを行っているそうです。

■主な質疑内容

Q1.まちやコミュニティの再生にはコミュニケーションが重要ですが、そのようなコミュニティ再生プロジェクトに参加した経験はありますか？（酒向先生）

A1.自治体と連携したネットワーク回線の整備や乗合タクシーサービス、子供への情報通信の事業展開、高齢者への健康相談など地域に密接した活動に取り組んでいます。（工藤さん）

Q2.たくさんの社会貢献に取り組んでいますが、「電話お願い手帳」の機能を携帯電話に追加してはどうでしょうか？すでにそのような機能はあるのですか？（秋山先生）

A2.全国の福祉団体等へアンケートを実施したところ、「手帳」での利用希望を多く頂き、電話お願い手帳に対するニーズが少なくないことを確認できました。

携帯電話に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。（工藤さん）

意見.骨伝導の技術もさらに展開していける可能性を秘めていると思います。バリアフリー対策が徐々に聴覚当事者への対策などのソフト面にシフトしてきているので、そういうところでも是非社会に貢献してほしいと思います。（秋山先生）

Q3.東日本大震災では電話が繋がらず、携帯のメールが時々繋がるような状態でした。震災以降、災害時の通信技術に前進はありますか？（渡部さん）

A3.東日本大震災では、通信設備にもダメージがありました。特に長時間にわたる停電が通信状況に大きく影響しました。災害に強いネットワーク設備はもちろんですが、災害時の通信手段の確保については、コンビニや全国に拠点を構える企業などと連携し、災害拠点の構築を検討しています。また、自治体との連携しながら復興まちづくりに対する貢献も果たしていきたいと考えています。（工藤さん）

【NTT社会貢献活動の取り組み事例】



電話お願い手帳



電話お願いカード



BONE CONDUCTION HEARING SYSTEM
 ライブホンときめき
 骨伝導方式ステレオヘッドホン
ライブホン「ときめき」のご紹介
 ライブホン「ときめき」は、聴覚に障がいのある方により豊かな音楽を楽しんでいただくため、NTTグループが開発したステレオヘッドホンシステムです。

聞こえる仕組み（骨伝導と聴覚の相乗効果）
 ライブホン「ときめき」は、機械の振動によって音を伝える骨伝導ユニットが内蔵されたステレオヘッドホンと、フィッティング機能も内蔵したステレオアンプで構成されています。

右図のようにヘッドホンの振動子を耳に当て、耳と顔の骨を振動させると、
 ・振動が骨導音（①）となり耳小骨、錘骨を振動させて聴覚神経に伝わる。
 ・耳鼓・外耳道内腔の振動が気導音（②）となり、聴覚から聴覚神経まで伝わる。

上記2つが相乗効果となり、音をより長く聴くことができます。

聴覚の経験について
 NTTグループが1995年に発明した、聴覚に障がいのある方のための電話機「ライブホン」の改良、骨伝導技術の発展を応用して、聴覚障がい者専用ステレオヘッドホンの開発に着手し、1997年に第1号機が完成しました。その後、聴覚や聴覚障がい者など、多くの方々のご協力を得て豊富な種類の改良を行い、1998年1月に現在のライブホン「ときめき」が完成しました。

これまでの活用実績について
 1997年以降、これまでで4,000名を超える方々にライブホン「ときめき」により、聴覚障がい者を楽しんでいただいています。

コンサートにおける活用実績
 国内：日本全国で240回以上開催
 海外：ニューヨーク・カーネギーホール（1998年） ニューヨーク・リンカーンセンター（1997年）
 マレーシア・パナシオンヤム（1997年）

コンサート以外における活用実績
 ・プロサッカークラブ「大宮アルディージャ」における活用（2008年）
 ファンの手を伝えるべく、スタジアムへ臨場したライブホンを設置して音が伝わる状況を確認しながら、聴覚障がい者へのサポート。

注）「骨伝導技術」は「聴覚障がい者支援」における活用（2009年「聴覚」）
 科学技術振興事業団が「ライブホン」を開発し、音の伝わり方についての理解を深める材料として活用。

ライブホン「ときめき」
（ライブホンコンサート）

以上

初台会議について少しでも興味をもたれた方は是日参加を！特に条件等はございませんので参加希望の方は事務局に連絡ください。情報はホームページ(<http://www.suko-machi.net/index.html>)に掲載していますので興味をもたれた方はアクセスください。